

国立大学法人 長崎大学

『プリオン病患者の診断基準の有効性の検証』 検体採取手順書

く プリオン病急速進行性認知症 >

採取ポイント検査項目	入院開始	入院後4週間
血清検体	1	1)
髄液検体	2	2

No	検査項目	採取量	採取容器 提出前処理 ————	提出容器	提出量	提出保存
1	血清検体	全血 3. 0mL	・採血後、速やかに5回以上の転倒混和・空温で30分以上静置・3000rpm/10min(目安)遠心分離・上清を指定容器に分注	→	血清 1. OmL	凍 結
2	髄液検体	髄液 最低1. 0mL	・髄液を最低1.0mL採取 ・黄キャップ提出容器を、30mLサイズの保護容器に入れる ・30mLサイズの保護容器の底部を、120mLサイズの保護容器の蓋に差し込む (30mLサイズの保護容器が固定されます) ・逆さまにした120mLサイズの保護容器に入れる		髄液 最低1. OmL	凍 結

※パスツールピペットは、使い回ししないでください。

受託元:株式会社エスアールエル・メディサーチ

・検体集荷のご依頼に関するお問い合わせ: TEL 0120-863-943

・上記以外のお問い合わせ: TEL 06-6599-0530

